SURE 静岡大学学術リポジトリ
Shizuoka University REpository

# 東部支部巡検会の報告：富士火山溶岩樹型ほか



| メタデータ | 言語: jpn<br>出版者:<br>公開日: 2018-06-19<br>キーワード (Ja):<br>キーワード (En):<br>作成者: 川平, 裕昭<br>メールアドレス:<br>所属: |
|---|---|
| URL | https://doi.org/10.14945/00025314 |

静岡地学　第69号（1994）

# 東部支部巡検会の報告
## ～富士火山溶岩樹型ほか～

川　平　裕　昭*

1993年11月21日（日）、篠ヶ瀬卓二会員（富士市立大淵中学校長）を講師にお願いして東部支部巡検会が行われた。本巡検会の主たる目的は裾野市十里木周辺の富士火山溶岩樹型の観察であるが、裾野市立富士山資料館にも立ち寄り、充実した一日を過ごすことができた。主要観察地点・事項について、その概要を報告する。

**1　裾野市立富士山資料館**（裾野市須山2255-39）

この資料館は1958年5月に開館され、富士火山のおいたち・なりたち、御坂層群の動物化石（ウニ・サメの歯など）、富士五湖のおいたち、青木ヶ原などの樹海、植物の垂直分布、富士山麓の野鳥や溶岩洞穴の生物たち、須山口登山道の歴史、宝永の大噴火、裾野のくらしなど、富士火山に関する豊富な資料および郷土の歴史・文化財などが展示されており、興味深く見学できた。ただし、地質年代区分、富士火山の基盤や活動史についての解説は、最近の研究成果を踏まえた見直しが必要である。

**2　十里木の複合溶岩樹型**（十里木氷穴）

十里木氷穴と呼ばれるこの溶岩洞穴は普通の溶岩トンネルとは異なり、6本の大木が溶岩流によって倒され、溶岩流に巻き込まれて流下する途中で、直径約2.5mの大木に遮られて生じた複合溶岩樹型であり、その形成過程が特殊である点が興味深い。なお、氷穴と呼ばれる訳は、狭い溶岩トンネルを下降してきた水分を含む冷風が、溶岩トンネル膨大部（溶岩樹型複合部）で断熱膨張により結氷したり、低温のため冬季の積雪が保存されて万年雪化するためである。

**3　玄武岩質の火山性洞穴**

玄武岩質の溶岩洞穴には通常の溶岩洞穴、十里木氷穴のような複合溶岩樹型（富士山のみ）のほか、Pit Caveと呼ばれるスコリヤ噴出口の底部に生じるもの（日本にはない）、Rift Caveと呼ばれる割れ目噴火口の底部に生じるもの（富士山・三宅島・八丈島など）が知られている。

**4　溶岩樹型の区分**

流動性の高い玄武岩質溶岩が流出して大木を押し倒したり、取り巻いて冷却・固化する際、樹木は高温状態の溶岩の熱によって燃え尽き、樹木に接した溶岩に樹木の鋳型が残されて溶岩樹型となるが、直立した大木を溶岩が取り囲んだ場合は直立型樹型（井戸型・石柱型）、溶岩流出前の風倒木や溶岩流出のために倒された樹木が溶岩流に閉じ込められると横臥型樹型となり、大木の場合には長さ10m以上のトンネル状を示す。

＊　溶岩樹型の観察地点：船津胎内・吉田胎内・吉田雁穴・鳴沢・大室神座・天神峠・精進口登山道天平山・山の神・鏡山・猿橋壬生・印野胎内・大淵丸尾火口・大淵丸尾富士見ヶ池・東臼塚丸尾など。

＊兵庫教育大学

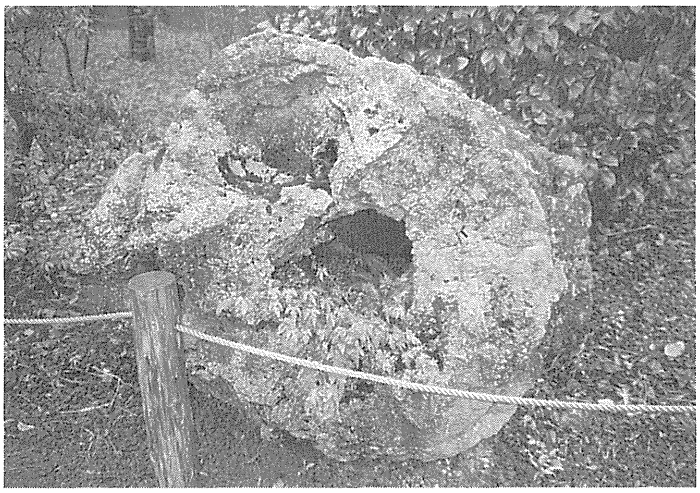
## 5　十里木丸尾

日本ランド遊園地の南に位置する罐子山（かんすやま）（標高 1,306 m、比高 146 m）は富士火山南斜面では最大級の寄生火山であり、東に近隣する黒塚（標高 1,270 m、比高 80 m）とともに、双子山地形を作っており、十里木丸尾溶岩の供給源である。黒塚の活動の方がやや古いため、黒塚溶岩の大半は罐子山の溶岩で覆われ、十里木丸尾の西側でわずかに露出するに過ぎない。

＊　黒塚の噴出物：噴出口を中心に岩滓丘を作るとともに、玄武岩質溶岩流を南方に扇状に流した（全長 3.63 km、最大幅約 1.13 km、厚さ約 5 m以下）。表層部の自破砕溶岩は火山角礫主体のアア溶岩で、塊状部には斜長石（主に粒径 3 mm以下、6-4 mmを含む）および普通輝石（粒径 3 mm以下）の斑晶が認められる。

＊　罐子山の噴出物：南に開いた岩滓丘を作るとともに、玄武岩質溶岩流を南方に扇状に流し、黒塚溶岩流の大半を覆った（全長 3.88 km、最大幅 2.18 km、厚さは約 10 m）。主として岩板状溶岩であるが、表層部は自破砕溶岩、下部にも赤化したルーズな自破砕溶岩を伴っている。なお、斑晶の斜長石の粒径は 6 mm以下、普通輝石は細粒で目立たない。

本溶岩流分布域に当たる十里木別荘地内には十里木氷穴（溶岩洞穴）があり、縦型溶岩樹型も数個ある。



左：写真 1　富士資料館前庭の溶岩樹型

右：写真 2　楼閣状樹型（富士資料館の展示物）

〈参考文献〉


1　静岡県地学会東部支部（1993）：フィールドワーク資料.

2　裾野市立富士山資料館（1993）：富士山～自然と歴史～.

3　裾野市教育委員会（1992）：富士南麓の溶岩洞窟.

4　小川賢之輔ほか（1986）：富士市の自然（富士市）.